

# ～実践発表コンクール～

はるにれの里では、研修委員会が企画する法人内研修に多くの事業所から職員が参加しています。今回は実践発表コンクールが、3月14日、15日の両日で開催されたことのご報告です。

3月14日（木）は経験年数3年以下の職員、3月15日（金）は経験年数3年以上の職員の発表でした。両日とも会場は超満員で、発表を聞こうと熱気あふれる雰囲気でした。

## 《実践発表コンクール》

実践発表コンクールとは、自分の実践を法人職員の前で発表するものです。

プレゼンテーションをする時間も決まっています。

プレゼンテーションのポイントは、実践の内容はもちろん、プレゼンカや支援の根拠、相手に伝えるテクニック、持ち時間を越えない、などなど。。

コンクールですので、優勝や準優勝、敢闘賞などがあり、豪華副賞も用意されています。

今回の実践発表コンクールでは

◎3年以下の部～7名

◎3年以上の部～5名 がエントリーし、発表してくれました。

実践報告は、いずれも素晴らしいものばかりでした。

利用者の方たちへの取り組みについて報告するにあたり、まずはその方のプロフィールを知らない職員が多く聞きに来ているため、そこからの説明が必要になります。現状の課題やニーズに対して、支援者やチームがどう考えたのか、そして支援の準備を経て実践をおこない、その結果はどうだったか、次の支援にどうつながっていくのか、がとても分かりやすく報告されていました。利用者の方たちへの想いが込められた支援だと感じる内容ばかりでした。

われらがゆいのスタッフ、ゆい近隣のグループホーム職員、居宅介護の職員も発表をしています。いずれも素晴らしいものでした。カッコよかったです！



次回の実践発表コンクールも楽しみにしています。

佐藤貴志